

2015年3月25日

研究課題名：再発子宮体がんの最適な治療法を探索するための 後方視的研究

患者さま医療情報の研究利用について

現在、再発した子宮体がんの治療には生存期間の延長と症状緩和を目的に手術や化学療法、放射線療法などが行われています。治療法の選択には、どこの部位に再発したかが重要と考えられています。しかし、近年、本邦での子宮体がんの治療法は大きな変遷をとっています。例えば、再発リスクの高い患者さまに対して行われている術後補助療法は、従来放射線療法を行っていましたが、現在は多くの施設で化学療法を行っています。また、手術の術式も早期がんに対してはリンパ節郭清の省略や子宮摘出術式の縮小化、腹腔鏡手術の導入など低侵襲手術へ移行しつつあります。従って、再発の仕方や再発時期、再発部位などが従来の本邦での報告や術後照射を行っている欧米の報告とは異なっている可能性が生じています。そこで北里大学産婦人科では、本邦での最近の症例を解析し、子宮体がんの再発様式や時期、再発部位とそれに応じて行われた各種治療の効果を調査することにより、これらの治療が実際にはどのくらい生存期間の延長や生活の質の向上に寄与できたかを検討するため、「再発子宮体がんの最適な治療法を探索するための後方視的研究」（調査）を行うことといたしました。この研究は東海大学産婦人科および聖マリアンナ医科大学産婦人科と合同で行われます。

調査対象となるのは2005年1月1日から2012年12月31日までに当院で治療を開始した患者さまのうち、2014年12月31日の段階で再発が確認された方です。本研究で調査する項目は「年齢」「進行期」「組織型」の他、「初回手術や化学療法の内容、効果」「再発の有無や時期、再発の部位」「再発治療の内容と効果、副作用」「2015年4月1日現在の健否の状況」などで、これらの情報を解析・保存する上で、すべての患者さまは匿名化され、氏名や住所などの個人情報は一切公表されることはございません。収集した情報は、北里大学産婦人科で解析され、研究実施期間中は施錠のできるロッカーで厳重に保管され、研究終了後（研究成果の最終公表から5年後）に処分されます。

今回の研究で得られた結果は、学会や雑誌などで報告されることがあります。本研究の調査対象に該当する患者さまで調査に同意されない方はお申し出ください。その場合、その患者さまのデータは削除されます。ただし、既に研究結果が公表されている場合は、削除することができません。また、本研究に関して、ご質問などがございましたら、下記の連絡先まで御連絡ください。

【連絡先】

〒228-8555

神奈川県相模原市北里 1-15-1
北里大学医学部産婦人科

研究代表者：恩田 貴志

TEL: 042-877-8414

FAX: 042-877-9433